

令和 7 年 7 月 30 日

群馬地区技術交流研究会会員 各位

同会長 天谷 賢児
熱流体分科会 主査 石間 経章

令和 7 年度 熱流体分科会第一回講演会のご案内

拝啓 会員の皆様におかれましてはますますご健勝の段、お慶び申し上げます。

このたび、フランスの I'ISAE-ENSMA（フランスの国立高等医学アカデミーと空力技術、航空宇宙研究所）の BOREE 氏が来日されるのに伴い、講演会を企画いたしました。BOREE 氏は、レーザ応用計測、自動車用内燃機関内流れ、境界層制御、混相流などの分野で多くの成果を上げている先生です。来日にあたり、群馬大学との交流を深めたいとの考えから、今回の講演会が実現いたしました。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

日 時： 令和 7 年 8 月 28 日（木） 講演会 15:00-17:00 懇親会 18:00-20:00
（オンラインは右 QR コード参照）

場 所： 群馬大学理工学部太田キャンパス 研修室 2
講 師： I'ISAE-ENSMA Professor J. BOREE 氏
講演内容：



講演-1 “Manipulation of dynamical properties of turbulent near wakes for drag reduction”
（抗力低減のための物体後流の動的制御）

自動車の抗力低減は、エネルギー消費および排ガス低減に役立つ技術である。自動車に見立てた鈍体周りの流れと圧力の関係について紹介する。鈍体直下に生ずる大きな再循環領域は、抗力に大きく影響する。このため、この領域での圧力降下を減らすことを目的に、各種のデバイスを設けた時の研究成果を紹介する。また、実走行条件下での車両抗力低減を目指した最新の研究も紹介する。

講演-2 “Wheel-vehicle aerodynamic interactions: consequences for drag”
（タイヤと自動車の空気力学的干渉：抗力への影響）

自動車の空気抵抗において、タイヤおよびその関連で 25%程度を占めることが知られている。したがって、これらの空気抵抗を減らすことは、空力開発プロセスで一つの課題となる。本研究では、車体モデルの形状とモデル近傍乱流に関する基礎的知見を用いて、タイヤと車両の空気力学的相互作用の特徴を実験的に明らかにした。さらに、車体下の流れと後流の影響、タイヤと床の距離による抗力変化などについて紹介する。

懇 親 会： ダニエルハウス <https://danielhouse.jp/>（参加費 3,000 円 当日承ります）

講 演 会： 無 料

申 込 方 法： Google フォーム <https://forms.gle/4iqqiL27ky5ikTic8>

または 返信用紙にてご回答ください。（〆切：8月25日（月）15時まで）

事 務 局： 群馬地区技術交流研究会 伊藤 真弓 群馬大学理工学部 6 号館 203 室
Tel.0277-30-1880 E-mail g.sangakukan@gmail.com